

令和6年(2024年)6月26日(水曜日)

登山鉄道構想など題材に講演会

グラウンドワーク三島



富士山の保全の在り方を考えた講演会＝三島市の三島商工会議所

富士山保全 在り方考える

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島はこのほど、富士山世界文化遺産登録10周年記念講演会「富士山は怒っている！」を同市の三島商工会議所で開いた。山梨県側で議論される「富士山登山鉄道構想」などを題材に、参加者と共に富士山の環境保全の在り方を考えた。

世界遺産登録11周年記念

GW三島の渡辺豊博専務理事と富士山自然誌研究会の菅原久夫元会長が登壇した。渡辺専務理事は世界文化遺産に登録された現状の富士山を守る大切さを訴え、登山鉄道の計画などの開発行為に否定的な考えを示した。菅原元会長は「自然にとって何が必要か考えなくてはいけない。雪崩は常にある。それが富士山の風景」と雪崩による被害が想定される同構想に疑念を投げかけた。

講演会の最後に、渡辺専務理事は「三島から登山鉄道を止める動きを本格化させたい」と宣言。県内外の富士山関連団体に呼びかけ、同構想の中止に向けた反対運動を展開していくと表明した。

富士山を取り巻く現状を知り、富士山が持つ価値を再認識してもらおうと国連教育学文化機関(ユネスコ)世界文化遺産に登録された22日に合わせて開催した。